

ニュージーランド研修報告

ラインで結ぶ長島の景観と観光

←芝生で覆われた道路沿いの緑地



長島町では、2月27日から3月3日の日程で、世界でも有名なニュージーランド、クライストチャーチ市のフラワーフェスティバル会場を視察しました。

これは、長島町における花の町づくりを推進するため、長島町民を海外に派遣し、外国における行政制度および運営の実態や専門技術などを調査研究することで、町民の視野を広め資質や技術の向上を目指すことを目的としています。研修には、川添健町長ほか町議会、商工会、観光協会、景観団体などの代表者、町の職員ら一行13人が参加しました。

視察時のニュージーランドは、夏から秋への季節の変わり目で、街中には至るところで鮮やかな濃い花ばなが、会場となっているハグレー公園のボタニックガーデンでは、木々の緑の中に、さまざまな品種の花が咲き、ボランティアによる管理のもと美しい景観となっていました。

このほか期間中は、各家庭の庭の美化を競うガーデンコンテストが行われ、花と芝生による面的な空間は本町の景観づくりの参考となりました。

町では、平成19年度から島内全域を花で彩るフラワーロード事業が進められています。

この事業は、町が長島内を花いっぱいしようとする道路ののり面に、町にふんだんにある素材、石を使って花壇を作り、地域の活性化策と癒しを目的としています。平成25年3月末現在、総延長約14キロメートルに及ぶ石積花壇が整備され、季節折々の花ばなが咲き誇るようになりました。

今後は、研修から学んだことと本町のフラワーロード事業などを照らし合わせながら、行政主導の景観づくりだけではなく、ボランティアなど住民一人一人が主役となった取り組みを図っていきます。



今年度も除草と景観に役立つツワブキの植栽と、国道、県道ののり面への石張りなどで、長島一周を観光ラインとして整備し、長島なりの独自性で観光客などの流入人口の増加を図っていく計画です。



→フラワーフェスティバル会場のボタニックガーデン

長島町が進めるフラワーロード事業など



道路両脇に植えられた花のライン



整備が進む道路のり面の石張り



島内に咲き誇るツワブキの花 (黒之瀬戸付近: H24.11月撮影)